Panasonic

939

一体型ＬＥＤベースライト スクエアタイプ （直付・半埋込兼用型）

施工説明書
取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

□７２０		ＦＨＰ４５形Ｘ４灯高出力相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)46020	ＦＨＰ４５形Ｘ４灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)46020	ＦＨＰ４５形Ｘ３灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)46020	ＦＨＰ４５形Ｘ３灯節電タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)46020
タイプ	光　色	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番
下面開放	昼白色【5000K】	NNFK44550/NNFK44550J	NNFK44450	NNFK44350	NNFK44250
	白　色【4000K】	NNFK44551/NNFK44551J	NNFK44451	NNFK44351	NNFK44251
	温白色【3500K】	NNFK44552/NNFK44552J	NNFK44452	NNFK44352	NNFK44252
	電球色【3000K】	NNFK44553/NNFK44553J	NNFK44453	NNFK44353	NNFK44253
格　子	昼白色【5000K】	－	NNFK44460	NNFK44360	NNFK44260
	白　色【4000K】	－	NNFK44461	NNFK44361	NNFK44261
	温白色【3500K】	－	NNFK44462	NNFK44362	NNFK44262
	電球色【3000K】	－	NNFK44463	NNFK44363	NNFK44263

□５７０		ＦＨＰ３２形Ｘ４灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)36020	ＦＨＰ３２形Ｘ３灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)36020	ＦＨＰ３２形Ｘ３灯節電タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)36020
タイプ	光　色	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番
下面開放	昼白色【5000K】	NNFK34450	NNFK34350	NNFK34250
	白　色【4000K】	NNFK34451	NNFK34351	NNFK34251
	温白色【3500K】	NNFK34452	NNFK34352	NNFK34252
	電球色【3000K】	NNFK34453	NNFK34353	NNFK34253
格　子	昼白色【5000K】	NNFK34460	NNFK34360	NNFK34260
	白　色【4000K】	NNFK34461	NNFK34361	NNFK34261
	温白色【3500K】	NNFK34462	NNFK34362	NNFK34262
	電球色【3000K】	NNFK34463	NNFK34363	NNFK34263

□４７０		ＦＨＰ２３形Ｘ４灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)26020	ＦＨＰ２３形Ｘ４灯節電タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)26020
タイプ	光　色	反射板付点灯ユニット品番	反射板付点灯ユニット品番
下面開放	昼白色【5000K】	NNFK24450	NNFK24350
	白　色【4000K】	NNFK24451	NNFK24351
	温白色【3500K】	NNFK24452	NNFK24352
	電球色【3000K】	NNFK24453	NNFK24353
格　子	昼白色【5000K】	NNFK24460	NNFK24360
	白　色【4000K】	NNFK24461	NNFK24361
	温白色【3500K】	NNFK24462	NNFK24362
	電球色【3000K】	NNFK24463	NNFK24363

・上記（　）内は加工品番です。
・特注品の適合本体品番：ＦＡＨＸ７、ＦＡＨＸ３０、ＦＴＥ９８０Ｄ、ＦＴＥ９８０ＤＳ、ＦＴＥ９８１Ｄ、ＦＴＥ９８１ＤＳ、ＮＳＲ８４Ｌ９、ＮＳＲ８３Ｌ９（以降、加工品番および特注品番の記載を省略します）。
・本照明器具はパナソニック製スクエアタイプ専用本体と反射板付点灯ユニットの組合せで性能を満足します。

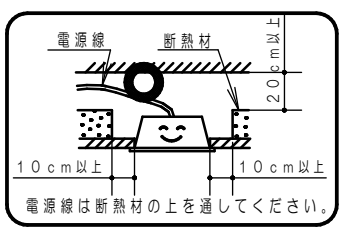
（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 警　告

●反射板付点灯ユニットを単独で使用しない。
　必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体と反射板付点灯ユニットの組合せで使用する。
　落下・感電・火災の原因となります。
●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●埋込施工の場合は断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
●水平天井直付・半埋込兼用ですので、壁取付はしない。　落下・感電・火災の原因となります。
●本体、反射板付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となり
●ＬＥＤユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６％）・周波数で使用する。
　指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
●反射板付点灯ユニットを単独で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
●ＬＥＤユニットのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。



⚠ 注　意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
　落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや器具の耐用年限が短くなる原因となります。
●一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
　（一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。）光学性能に影響を与える場合があります。
●ＬＥＤユニットのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、
　ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。　パネルの劣化・破損の原因となります。
●器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。

取説No. NNFK34450－T8

施工上のご注意

・コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行なってください。ＬＥＤユニットの故障・耐用年限が短くなる原因となります。
　万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路（発振停止機能）によりＬＥＤユニットは点灯しません。
・スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。
　（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。）
・Ｔ／Ｕ付６Ａリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
　詳細については、該当Ｔ／Ｕ付６Ａリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
・起動方式”ＬＴ”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約２５～１００％に、
　起動方式”ＬＡ”の器具は、光出力を約１０～１００％に変化させることができます。
　適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。

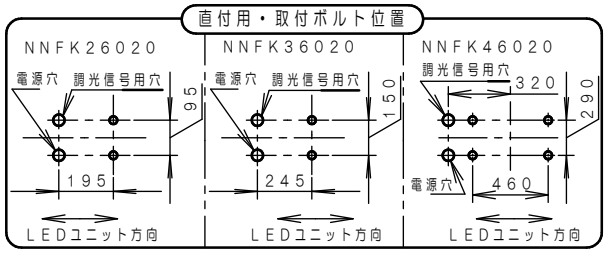
■結線について
・コントロールの結線は、コントロールの説明書をご確認ください。
・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
・調光信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。

各部のなまえと取付方法

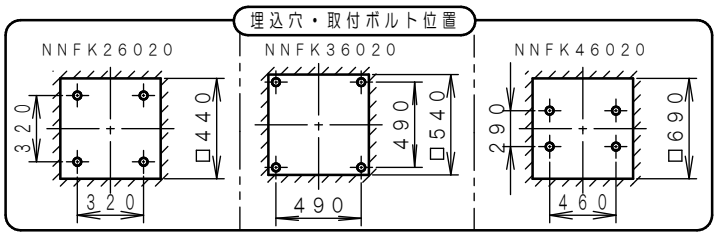
⚠警 告

●反射板付点灯ユニットの取付・取外しの際は必ず電源を切る。
●施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

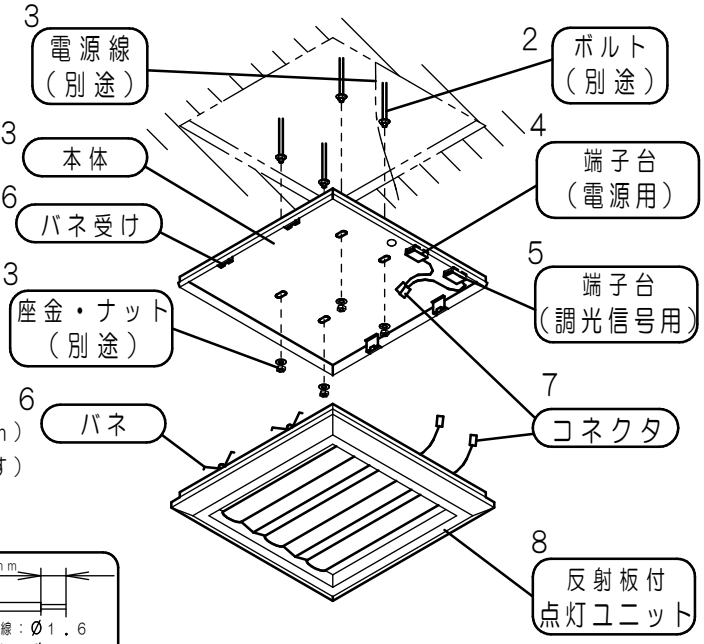
	ボルト出しろ
直付施工の場合	１５～２０ｍｍ
埋込施工の場合	－５～－１２ｍｍ



注）天井の電源穴位置がズレたり大き過ぎると本体端部より見えますのでご注意下さい。



※ＸＬ４８４ＰＥＶの例で説明しています



※反射板、ルーバー（格子タイプ）は
　取外し出来ません。

1 取付前の確認

・器具質量（９．１ｋｇ：直付ＸＬ４８４ＣＢＶの場合）
　に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
　取付ボルトは、Ｗ３／８又はＭ１０を使用する。
・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
　不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口（埋込施工の場合）

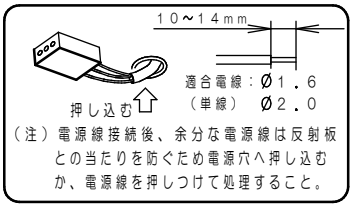
・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3 本体の取付

・電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・調光信号線を本体の信号用穴から引き込んでおく。
・内部配線を傷付けないように取付ける。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。
　（推奨トルク　直付時：１．５Ｎ・ｍ　埋込時：０．８Ｎ・ｍ）
　（締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります）
・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
　不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

4 電源線・アース線の接続

・電源線、アース線を確実に差し込む。
・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、２０Ａです。
　（送り機能付）

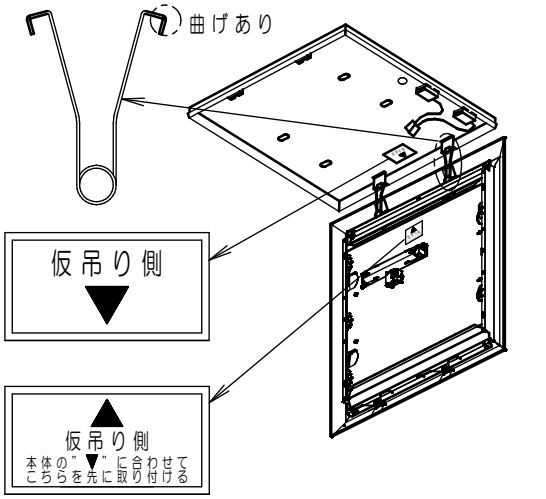


（注）電源線接続後、余分な電源線は反射板との当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。

各部のなまえと取付方法（つづき）

6．注意事項

・仮吊り用のバネ形状　　・▼▲マークを合わせる



・本体内面の▼マークと
反射板付点灯ユニット背面の▲マークを合わせて
曲げのあるキックバネを本体に引掛けた後
コネクタを接続する。

5 調光信号線の接続

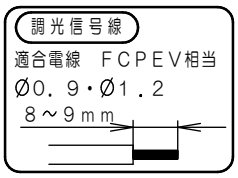
・「調光信号用」と表示のある端子台に接続する。

・調光信号線を確実に差し込み、固定する。

・調光信号線に極性はありません。

・端子台（調光信号用）の容量は１５Ａです。

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、正常に調光できなくなります。



6 バネの取付

・反射板付点灯ユニットのバネ（片側）を本体のバネ受けに引っ掛ける。

取付が不完全な場合、反射板付点灯ユニット落下の原因となります。

7 コネクタの接続

・コネクタを接続する。「カチッ」っと音がするまで嵌め込んでください。

8 反射板付点灯ユニットの取付

・反対側のバネを引っ掛け、反射板付点灯ユニットを押し上げ、取付ける。
内部配線を挟み込まないように取り付けてください。

取付が不完全な場合、反射板付点灯ユニット落下の原因となります。
取付が不完全な場合、本体と反射板付点灯ユニットの接地導通が取れず、感電の原因となります。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警 告

●必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体と反射板付点灯ユニットの組合せで使用する。
落下・感電・火災の原因となります。
●本体、反射板付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●ＬＥＤユニットのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。
万一破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
●ＬＥＤユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。
●反射板付点灯ユニットを取外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。

⚠注 意

●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●照明器具には耐用年限があります。設置して１０年（※1）経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。
※1：使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●ＬＥＤ光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＨＡ）点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
●点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下に至る場合があります。

■ＬＥＤ照明器具の光束維持時間は、４０，０００時間（光束維持率８５％）です。

取説No．NNFK34450－T8

保証について

・保証について・・・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、ＬＥＤ電源は３年間です。
・保証書について・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

使用上のご注意

●光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（ＬＥＤユニット部）を長時間直視しないでください。
●ＬＥＤ素子にはバラツキがあるため、ＬＥＤユニット内のＬＥＤ個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
●同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
●光出力比（％）と目で感じる明るさ感には相違があります。
●電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
●コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もＬＥＤユニットが薄暗く発光する場合があります。
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
●反射板付点灯ユニットの品種により始動時間が異なる場合があります。

お手入れ

・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

（反射板付点灯ユニットの取外し方）
① 反射板付点灯ユニットを引きおろす。
・枠を持って引きおろす。
・反射板、ルーバー（格子タイプ）を持って引きおろさない。
※反射板、ルーバー（格子タイプ）は取外し出来ません。
② 器具銘板貼付側のキックバネを取外す。
③ 仮吊り状態にし、コネクタを取外す。
④ 仮吊りしているキックバネを取外す。

⚠警告

●感電のおそれあり。お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
●パネル破損のおそれあり。ＬＥＤユニットのパネルは樹脂製です。取扱いに注意してください。
●やけどのおそれあり。点灯中や消灯直後はＬＥＤユニットやその周辺をさわらないこと。

■定格　＜ＬＴ９方式＞

	ＦＨＰ４５形Ｘ４灯高出力相当タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	１．０８Ａ	０．５３Ａ	０．４４Ａ
消費電力	１０８Ｗ	１０５Ｗ	１０５Ｗ

■定格　＜ＬＡ９方式＞

	ＦＨＰ４５形Ｘ４灯相当タイプ			ＦＨＰ４５形Ｘ３灯相当タイプ			ＦＨＰ４５形Ｘ３灯節電タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	０．７６Ａ	０．３８Ａ	０．３１Ａ	０．６０Ａ	０．３０Ａ	０．２５Ａ	０．４２Ａ	０．２１Ａ	０．１７Ａ
消費電力	７６Ｗ	７５Ｗ	７４Ｗ	６０Ｗ	５９Ｗ	５９Ｗ	４２Ｗ	４１Ｗ	４１Ｗ

	ＦＨＰ３２形Ｘ４灯相当タイプ			ＦＨＰ３２形Ｘ３灯相当タイプ			ＦＨＰ３２形Ｘ３灯節電タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	０．５０Ａ	０．２５Ａ	０．２１Ａ	０．４５Ａ	０．２２Ａ	０．１９Ａ	０．３３Ａ	０．１７Ａ	０．１４Ａ
消費電力	５０Ｗ	５０Ｗ	５０Ｗ	４５Ｗ	４４Ｗ	４４Ｗ	３３Ｗ	３３Ｗ	３３Ｗ

	ＦＨＰ２３形Ｘ４灯相当タイプ			ＦＨＰ２３形Ｘ４灯節電タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	０．３４Ａ	０．１７Ａ	０．１４Ａ	０．２１Ａ	０．１１Ａ	０．０９Ａ
消費電力	３４Ｗ	３４Ｗ	３４Ｗ	２１Ｗ	２１Ｗ	２１Ｗ

■リサイクル　照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土／9：00～18：00(祝日・三が日を除く)※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460(FAX)

MN0616-080626